

認知症になっても安心して暮らせる社会を

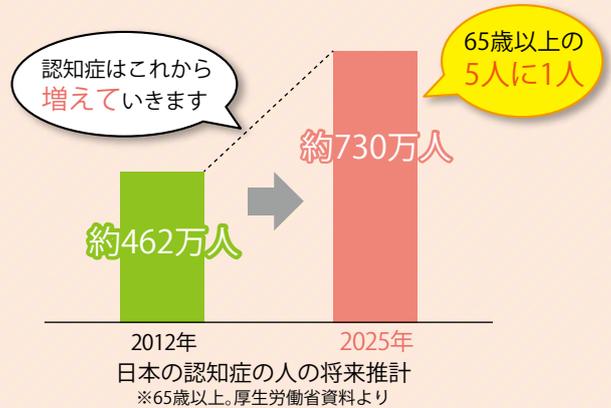
認知症は特別な病気じゃない

認知症は、脳の病気や障がいなど様々な原因により、認知機能が低下し、日常生活に支障が出てくる状態を言います。認知症を引き起こす最大の原因は「加齢」です。わが国の平均寿命はトップレベル。

自分も家族も地域の人でも認知症になる可能性があり、また、関わる可能性がある、「身近」なものなのです。

厚生労働省の推計では、2025年には65歳以上の高齢者の5人に1人が認知症になると言われています。

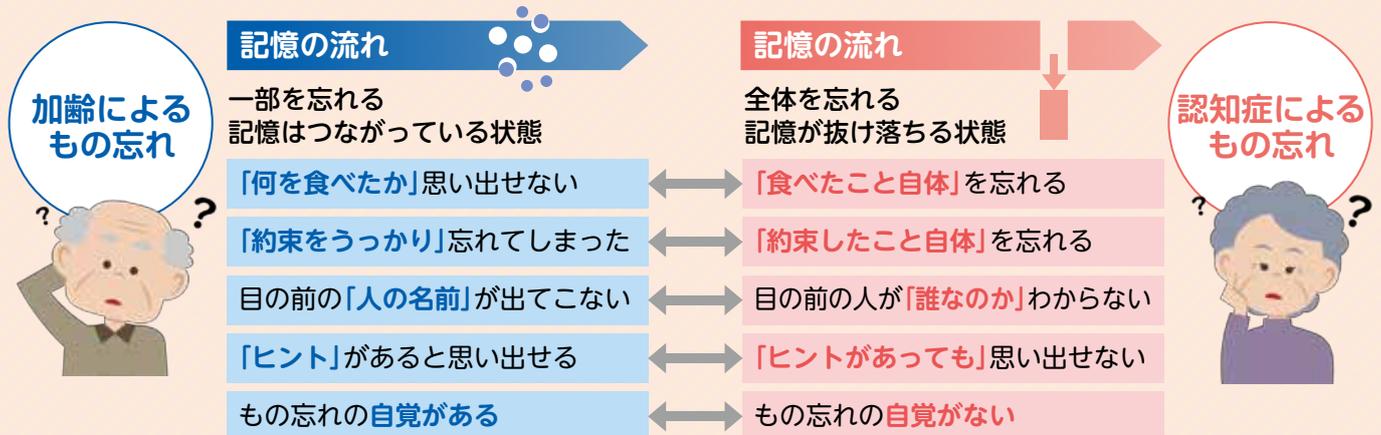
誰が認知症であっても、住み慣れたまちで自分らしく暮らせるよう、適切な治療と支援、そして何よりも周りの人の正しい理解と優しい気持ちが大切です。



「加齢によるもの忘れ」と「認知症によるもの忘れ」は異なります

年齢を重ねると、多かれ少なかれ名前が出てこなくなったり物覚えが悪くなったりします。しかし、認知症によるもの忘れの場合は、体験そのものを忘れる、忘れたという自覚がないなどの特徴があります。

「加齢によるもの忘れ」と「認知症」のちがい



早期発見・早期対応が大事

認知症の早期発見・早期対応は、その後の認知症の人の生活を左右する重要なことです。

認知症のように普段の生活に支障をきたすほどではありませんが、記憶などの能力が低下し、正常とも認知症ともいえない状態を「軽度認知障害(MCI)」といいます。

MCIの約半数は5年以内に認知症に移行すると言われています。

早い段階で発見し対応できれば認知機能の改善が見られたり、認知症の発症を遅らせる効果もあると言われています。

以下のようなことがあったら、認知症の兆しかも・・・

- 同じことを何度も聞く
- 物をなくしたり、置き忘れる
- 慣れた道で迷う
- 料理や片付け、計算などのミスが多くなった
- 好きだったことに興味や関心がなくなった
- イライラや落ち込みなど、情緒が不安定になった



自分のことも家族のことも 一人で悩まず、相談してみよう!!

★地域包括支援センター

専門職が配置され、高齢者やそのご家族への幅広い相談支援を行っています。ひとりで悩んで抱え込まず相談してください。

認知症の早期診断・早期対応につなげる「認知症初期集中支援チーム」

認知症や認知症の疑いのある人が、独居であったり、家族が受診を勧めても受診する気持ちにならなかったりと、早期診断や対応に結びつかない場合があります。

認知症の診断や適切な医療・介護サービスに結びつける支援を集中的(おおむね6ヵ月)に行う「認知症初期集中支援チーム」が必要に応じて関わります。

直方市地域包括支援センター(市役所 健康長寿課 高齢者支援係内) TEL 0949-25-2391

認知症の人や家族とつながりたい

★認知症の人と家族の会直方

介護・医療・福祉の専門職や介護経験者がお待ちしています。

認知症のケアに関わる人同士、顔の見える関係性をつくり、日常のケアについて話せる場、相談できる場づくりをしています。

問い合わせ：認知症の人と家族の会直方 TEL 0949-23-2551
(直方市社会福祉協議会内)

認知症についてもっと知りたい

★認知症サポーターを広める会

認知症サポーターを広める会では、認知症を正しく理解するための普及啓発活動として「認知症サポーター養成講座」を開催したり、認知症カフェの支援などの活動を行っています。

認知症サポーターは、地域や職域において、「認知症」に関する正しい知識を持つことで、認知症の人やその家族が安心して暮らせる社会づくりに貢献します。5人以上の受講希望者が集まれば、「認知症サポーター養成講座」を受けることができます。

認知症サポーター養成講座でもっと認知症のこと学びませんか？

認知症サポーターは「なにか」特別なことをする人ではありません。

認知症の人やその家族の「応援者」です。

この機会に、認知症についてもっと知ってみませんか？

対 象：市内に住んでいるか通勤している人

と き：10月13日(水)

①昼の部 受付 午後1時 開始 午後1時30分～3時

②夜の部 受付 午後5時30分 開始 午後6時～7時30分

※内容はどちらも同じです。

と ころ：中央公民館3階 第3学習室

募集人数：各回30人

受 講 料：無料



申し込み・問い合わせ…健康長寿課高齢者支援係 (TEL 25-2391)